

# <空の安全・安心を！ 整理解雇4要件を守れ！>

## 京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第17号 2013.1.18 日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール 5F 京都総評気付 Tel 075-801-2308 (第19回定例宣伝)



### JAL 不当解雇撤回を！ 稲盛名誉会長は ベテランを職場に戻して安全な空にせよ



「私たちは一昨々年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 142名です。不当な解雇は撤回せよ！」と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。」

We are 142 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve 3 years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12월 31일, 일본항공사에서 혼고당한 파일럿과 객실승무원 142명입니다. 부당한 혼고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

「JAL、ANAに暗雲？ B787は大丈夫か」と東洋経済オンライン 2013/1/9 は伝えています(写真も)。



### JALがB787ショックに揺れている！ 二日続けてトラブル あわや大惨事 深底究明なしで飛ばし 続けるその感覚は稻盛イスムか？！「儲けなくして安全なし」

「米国時間の1月8日、JALが運航する旅客機ボーイング787で、ボストン・ローガン国際空港の誘導路を走行中に、左翼の燃料タンクから油が機外に漏れるトラブルが発生した。JALのB787型機では、前日7日に別の出火事故が起ったばかり。2日連続でトラブルが起きる異例の事態となつた。」「JAL7便で起きた8日の燃料漏れは、本来閉まつていなくてはならないバルブが開いたままとなっていたことが直接的な原因だ。」

■ 「再発のおそれはない」と判断か

「バルブが開いていた原因是現在調査中。旅客機が整備を終え、滑走路へと向かうところで発生したトラブルであるため、**原因は旅客機と整備業務、両方に可能性がある**。ただ同便はすでに成田に向かってフライトを開始している。『再発のおそれはない』と判断したもようだ。」

「一方で、より重大なのは同じ空港で起きた7日の出火事故だ。地上に駐機中、尾翼に備えられた、飛行機に電力を供給する補助動力装置(APU)のバッテリー付近から出火が発生した。この事故は現地に着陸後、10分程度の後に起きており、整備など、空港での業務の不手際により起きた可能性は低い。納入自体、昨年の12月下旬にされたばかりの新品であり、ボーイング社側の問題であるという見方が強い。JALが昨年より成田—ボストン線、成田—米サンディエゴ線などの新路線を開拓できているのも、このB787の力によるものだ。」

■ B787はJAL、ANAの根幹を支える存在

「当初08年に予定されていたANA向けの初号機引き渡しは計7回も延期され、3年以上遅れる結果となつた。納入開始後もトラブルが連続。昨年7月には、納入前の試験機が飛行中に、エンジンから破片を落とす事故を起こし、米国家運輸安全委員会が調査に乗り出す事態となつていている。また、昨年12月には、ANAの岡山—羽田便でも、飛行中、操縦席の窓ガラスにひびが入るトラブルが起きている。」

「同旅客機の不安が解消されなければ、JALやANAが航空会社として担保しなければならない安全運航に暗雲がたれこめるのはもちろんのこと、両社の経営戦略自体も揺らぎかねない。ボーイングには一刻も早い原因究明と、対応策の実施が求められる。」

・・その後、G.S.ユアサ製の電池やいろんな部品を製造した日本の大企業の責任問題であることも解明されつつあるが、同じ飛行機で営業続ける感覚は、「儲けなくして安全なし」と喝破した稻盛和夫JAL名誉会長の「哲学」の実践だ！・・ANA高松の事故で1月16日によく運航取りやめ決定。事故から9日も経過！

整備関係でも労働争議が絶えない！ ベテラン労働者の首切りを撤回して空の安全を！